

第46回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和3年9月27日（月）15：00～16：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義 一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長（WEB参加）

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

小谷野 和博 埼玉県中小企業団体中央会会長（WEB参加）

近藤 嘉 日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長（WEB参加）

坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）

讚井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

光武 耕太郎 埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB参加）

三村 喜宏 埼玉県商工会連合会会長（WEB参加）

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

高田 直芳 教育長（WEB参加）

安藤 宏 危機管理防災部長（WEB参加）

山崎 達也 福祉部長（WEB参加）

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部参事

本多 麻夫 保健医療部 参事

板東 博之 産業労働部長（WEB参加）

村田 暁俊 都市整備部長（WEB参加）

岸本 剛 衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 現状の分析・評価について

- 人流がそれほど抑制されていないにもかかわらず、感染者数が減少傾向にあるのは、なかなか入院ができないといったようなネガティブな情報を見て、個々人が感染対策を十分に注意した結果ではないか。（坂木委員）

イ 埼玉県における10月1日以降の措置について

- 前回のまん延防止等重点措置の際に、事業者から安心宣言飲食店+を取っているメリットをあまり感じられないという声があった。そのため、安心宣言飲食店+を取っていることを前提として、飲食店の人数については前回よりも制限を多少緩和してもいいのではないか。（池田委員）
- 加盟組合の酒類提供をする飲食店にヒアリングを行ったところ、酒類提供の人数上限が1名だとそもそも店に入っていないという意見が非常にあった。そういうことからすると、大人数にはならない程度まで人数を緩和してもよいのではないか。（近藤委員）
- 第5波では、保健所業務ひっ迫による積極的疫学調査の縮小により、県立学校において、PCR検査が十分できていなかった。学校ではこれから様々な行事がある時期なので、検査すべき時にできるような検査体制のサポートを検討していただきたい。（坂木委員）
- 10代以下はワクチン接種の伸展が十分ではなく、第6波において患者に占める割合の増加が懸念されるため、小児用ベッドの確保や療養環境など、今のうちに整えておく必要がある。（坂木委員）

ウ その他

- 酸素ステーションについて、運用基準の見直し、抗体カクテル療法の実施や看護師のトレーニングなど、患者が少ない間に酸素吸入にこだわらない活用方法を検討していただきたい。（坂木委員）